



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

行動に信念を
信念は行動に



佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務局 〒 880-02 佐土原町大字下田島8883番地1
TEL 0985-73-0015

BELIEVE IN WHAT YOU DO DO WHAT YOU BELIEVE IN

1994. 5. 6 (金) 第315回例会

1. 点 鐘
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング「奉仕の理想」
4. 「四つのテスト」唱和
5. 食 事
6. 会長の時間
7. 幹事報告
8. 各委員会報告
9. 5月セレモニー(註生・結婚記念日)
10. 卓 話
11. 点 鐘

第 3 1 4 回例会記録 (1994. 4. 22)

会長の時間 代理 副会長 児玉武文

皆さん今日は、本日は第314回例会です。
正岡会長が大分市に出張のため、私が会長代行をさせていただきます。

本日は西都RCから4名の方がビジターとしてお見えになっていらっしゃいますので、一番身近かてなにかとご支援をいただいております西都クラブの現状等について、御卓話を賜りますなら幸甚に存じます。今後の当クラブ充実のための指針にさせていただきますと考えます。

佐土原RCも今年度になりまして22名の会員になりました。37.5%の増です。

これは正岡会長の会員増強に対する大変なご尽力と、それに呼応した会員各位のご協力によるものであります。今後ともお互い頑張って、

30名にまで増強しましょう。当クラブに一層の活動力を生じさせるために、是非とも実現しなければならぬと思うのであります。

さて、今日は急場しのぎということで、今朝の宮崎日日新聞の「四季の窓」欄に記載してありましたことについてふれてみます。

「緋牡丹に隣(な)り染まず白牡丹」

(悠紀子)

花の開く時に吹く風のことを“花信風”と言うそうです。(一般的には花信の風とも)

中国の古い定めによると、二十四節気の小寒から穀雨までの約4カ月を二十四候に分け、一候ごとに花と風の名を付けて“花信風”と呼んだということです。

今年の穀雨(春雨が降って百穀を潤すという意味)は4月20日で、今はその一候になっています。花信風は牡丹風で、牡丹を咲かせる風ということになるとのことです。

雨の中で、真紅の緋牡丹と純白の牡丹が隣合わせに鮮明に咲いている。白牡丹は緋牡丹の色に染まることもなく、むしろ緋牡丹との対比によって、その白さがくっきりと映えている。その情景を心に描くと、本当にすがすがしい気持ちになります。

毎週金曜日の宮崎日日新聞の「四季の窓」には、このように四季に関連して、心をなごませてくれる記事が載っています。

いよいよ五月晴れの薫風の季節になります。

同欄には、薫風の中にはフィトンチッドという化学物質が多く含まれ、殺菌効果で空気を爽やかにする役目をする、と書いてありました。皆さんも休日には野外に出て、大いに五月の薫風を楽しんでください。

事務局番880-03宮崎県宮崎郡佐土原町大字東上那阿17588-10(有)池田印刷所内☎0985-74-0130
会長 正岡文郁・副会長 児玉武文・幹事 池田仁志・会計 柳田光寛・会報責任者 垂水敏雄

幹事報告 池田仁志

例会変更通知

- *宮崎西RC 4月29日は休会
- ” 5月6日 18:00
ホテル・フェニックス
- *宮崎南RC 5月2日は特別休会
- *宮崎RC 5月3日は休会
- *宮崎北RC 5月4日は休会
- *宮崎中央RC 5月5日は休会

親睦委員会より 副委員長 森田邦宏

先般の歓迎会・歓楽会では大変お世話になりました、誠に有難うございました。

皆様のご協力で、会員相互の親睦がますます深まったことと確信いたします。今後とも親睦委員会活動を充実させていきたいと考えますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

なお、当日の精算に消費税を入れておりませんでしたので、再計算の結果、一次会・二次会とも参加された方は6,000円、一次会だけの方は3,400円の会費になります。

お手数ですが、会費を私までお届けくださいますようお願いいたします。

出席報告 委員長 神宮寺利夫

会 員 数	22名
欠 席 者 数	5名
H C 出席者数	17名
メイクアップ者数	2名
出 席 率	86.4%
欠 席 者 名	井下・斉藤 (副)大野

ビジター

西都RC 尾崎忠男君
” 池田洋文君
” 宇治野稔君
” 小畑正照君

ビジター卓話 西都RC 尾崎忠男君

同窓生の児玉武文君のご指名とあれば、卓話を引き受けざるを得ませんので、西都クラブでの私の経験などを参考までにお話ししてみます。

西都ロータリークラブを創立することになり、函師初代会長から私にも入会勧誘がありましたが、私などはまだまだ会員の資格がありませんと固辞しました。しかし、外山宮大が学長がお見えになり、息子さんと青年会議所で知り合いの関係もありまして、とうとう入会することになりました。その時のチャーターメンバーは30名でした。

早いもので、今年で西都RC創立10周年を迎えます。貴クラブにも10周年記念式典のご案内を差し上げますので、是非多数のご参加をお待ちしております。

入会后10年経って、私にもやっとロータリーが分かってきたといえますか、ロータリーが楽しくなってきたというのが実感です。

入会した頃の3年~4年間は、例会などにも義理で出席していたように思います。

仕事と重なる、病気を患う、などで例会出席が困難になる、メイクアップをしようとしても曜日の都合でなかなかできない、なんでロータリークラブに入ったのだろうかと思つたこともあります。

ロータリーを楽しむ気持ちにならないと、かえって重荷になるように考えられます。そして、時間は自分でつくるものであることを知ることが大切です。たまには車座になって飲みながらRCについて議論し、それぞれが自分も何か主張したなという思いが残るだけでも結構です。それが親睦に繋がります。(要旨)

西都RC 池田洋文君より

西都RCでは、全会員から1名以上の会員候補者を推薦してもらい、それを会員増強委員会で選考して理事会に提出します。理事会で審議のうえ入会者を承認する、というシステムをとっています。上半期に3名入会。

経済不況の影響で、企業の閉鎖等により退会された方が2名(このような場合は補充者もいません)本年度はありました。

九電、銀行などは、会員である方が転出された場合には、後任の方が引き継いで入会していただくことになっております。西都RCの会員最高時49名、最低時45名で、現在は48名をキープしていますが、創立10周年記念日まではどんなことがあっても50名にしたいと懸命に努力中であります。(要旨)